

北 汲 沢 地 区 だ よ り

ねむのき

第 8 2 号 発行日 平成 2 7 年 1 0 月 1 日

発 行 北汲沢連合町内会、北汲沢地区社会福祉協議会

スラッグラインにワクワク!「子供の集い」

フリスビーを取り合って投げたがる子、スーッスーッと身軽にかわして最後まで残る子、ドッチビーの子ども達の景色は様々。

7月12日(日)踊場地区センターで連合主催「子供の集い」が開催された。今年は、低学年、高学年共に参加人数が少なく4 3チームになり、試合数も半減。ちょっと物足りなかった感じ。



1位は、低学年高学年共に混成チーム。子ども達には全く垣根がなく、

素晴らしい。来年の参加者復活に期待。

それを補ってくれたのは地区社協主催のスラッグライン。バランス感覚を養う初めての競技に、何度もトライする子も。大変好評だった。

今年は、昼頃には炎天下になり、皆木陰で

焼きそばを味わった。その後のアイスには、どの顔も満足していた。この集いをサイドから支えてくれた、連合役員、常任委員、スポーツ推進委員、青少年指導員、婦人部、そして地区社協の皆様、大変有難うございました。



ドッチビー大会に参加した子供たちの体験記

富士見 汲沢小3年 金子 ゆう太

ぼくは、1年生のころからドッチビー大会にさんかしていました。でも、今までは、おもいきりグリスビーをキャッチしたり、投げたりすることができませんでした。

けれど今年は、おもいきりキャッチしたり、投げたりすることができ、1位をとることができました。来年も1位をとりたいです。



夏休みこども水泳教室 泳ぎながら学んで楽しんだ5日間！

8月5日(水)～8月9日(日)の5日間、汲沢小学校プールにて、踊場地区、汲沢地区と3地区合同の「子ども水泳教室」を開催し、北汲沢地区からは1年生から5年生までの25名が参加しました。天候にも恵まれ欠席者も少なく、YMCAの指導員のもと、毎年恒例の事故防止予防の着衣水泳や泳力別のグループに分かれた講習を行いました。

水に顔をつけられなかった子が、最終日にはバタ足ができたたり、泳げる子はより綺麗なフォームを取得したり、楽しみながら上達した5日間でした。

(スポーツ推進委員 田中 まゆみ)



悪質商法被害未然防止の「消費生活啓発講座」開催報告

今年の消費生活推進員主催の講座は、8月21日(金)午前10時30分から東明倶楽部で52名の参加を得て、開催された。

当日は県くらし安全課による防犯講話と被害にあった方の声や寸劇による振込め詐欺・悪質商法被害防止策が紹介された。

会場では、会館外に「のぼり旗」2本、会場内には、推進員手作りの「ポスター」5枚をボードに貼り、参加者には、呼びかけカード入りの「エコたわし、エコ石鹸、コースター」を配布して、被害未然防止策PRに努めた。

今回は、呼びかけにより大勢の参加をいただきありがとうございました。

(消費生活推進部会 部長 岡田 順子)





「暑さ寒さも彼岸まで」と言われています。彼岸は春（3月）と秋（9月）の2回あることから、このように言われているのでしょう。彼岸とは、入りから明けまで7日間で、中間日に、24節季の「春分の日」と「秋分の日」があって、国の祝日になっています。この季節には、太陽が真西に没することから、西方浄土を教える仏教の習わしで、仏供養、墓参りをします。また、彼岸を中心に、昼夜の長短に変化が始まると同時に、暑さ、寒さにも変化を感じるようになります。

昔は暑さに強い人、寒さに強い人のことを話題にしたものですが、最近はそのような話題がちっとも見当たりません。冷暖房設備が充実し、遠距離地との往復も短時間で可能になったせいではないかと思えます。

沖縄出身の自分は、夏になると関東の暑さなど沖縄に比べれば平気でしょうといわれたものです。そんなことを言う人に対して、自分は北海道に5年半も住んでいたもので、関東の暑さは大変だと反論しました。

そういう暑さ寒さのことも昔物語となり、いまや熱中症で千人以上が救急搬送されたとか、一人暮らしの年寄りが、家の中で凍死していたという時代になったようです。クワバラ・・・暑さ寒さにもっと気をつけていきたいものです。

〔東明西町内会員 當間 俊雄〕

生活のヒント



『ハチの巣にご注意を！！』

7月から10月にかけて、ハチの巣を見かけることが多くなります。ハチの種類によっては高い攻撃性を持っているので、適切な対処で事故を未然に防ぎましょう。

- ◇スズメバチの対策 → 素人の駆除は危険、専門の業者に依頼する
- ◇アシナガバチの対策 → 巣を刺激しなければ、人を襲って刺すことはない
 - 1 自分で駆除をする
 - 2 駆除専門業者に依頼する
 - 3 そのまま秋まで放置しても11月頃で終わる

自分で駆除をする場合の駆除用器具や防護服を区役所で貸出しをします。

但し、薬液は自己調達です。

お問合せ先：福祉保健センター生活衛生課 6階64番窓口 電話 866-8476

保健活動講演会「健康を考える」

例年秋に開催していた健康講座、今年は日程を早めて6月30日に新生会館で開催しました。数年来取り組んできました「年に一度、ふりかえり健康チェック」の一環として、「健康を考える」をテーマに、35名の参加を頂きました。

講演に先立ち血管年齢・足指力等の測定の後、戸塚区福祉保健センター健康づくり係りの保健師 深瀬さん・布川さんにお話を頂きました。

転ばない 転ぶと何が怖い？ 骨折 治療
 リハビリに時間が掛かり認知症に 元の生活に戻れない
 ~ 転ばないしっかりした足腰のためには、日頃からの生活が大切
 食事をバランス良く！ アルコールは控えめに！
 なるべく歩き、適度の運動！ もちろん禁煙！

「健康寿命を延ばそう」は横浜市のテーマ、健康で長生き「ぴんぴんころり」が『合言葉』との事です。



情報コーナー

秋の連合健民祭

ウォーキング、けんちん汁、ブラバン演奏

開催日 10月25日(日) 雨天:10/31(土)

集合 午前8時40分

場所 壱町ヶ谷公園(新生自治会館隣)

イベント内容

ウォーキング・9時出発 コース 東海道戸塚宿

散策コース 約6km 9500歩 2.1時間

帰着後 けんちん汁・おにぎりを食べながら、

汲中ブラバン演奏を聴こう

演奏 11:50頃~30分位

福引 大人は抽選券で、夢を当てよう

子供はゲームで、賞品を当てよう



触れさせて 頂く赤子やはやはと
満ち足る母乳が 微笑みくるる

赤ちゃんの笑顔は無垢な喜び、生命力が宿り老いたこちらにも、それが伝わり力が湧きます。

健やかに子供達が育ち明るい未来をと思うものである。

(東明西町内会 佐々木 つね氏投稿)

秋ふかし 隣は誰もいなくなり

半分降りた駐車場のシャッターをくぐり、作業服姿の男性が、両手に大きな袋を持って出て来た。その家は半年程前に住人が亡くなり、ずっと空き家になっていたの、初めは不動産関係の人かと思ったが、社用車も使用せず足早に通り過ぎる後ろ姿に不審を抱いた。

後日、家の片付けに見えた人に確認したところ「全く心当たりがない。何か持ち去られたとしても元の住人が急に亡くなったので、庭や物置に何があり、何がなくなったのかわからない。シャッターは下までおろします」との事だった。注意して近所を歩いてみると「空家?」と思われる家が意外と多いことに気付いた。ポストからなだれ落ちそうなチラシ、生い茂った庭の草木。人が住まなくなると家はこんなにも活気がうせるものなのか・防犯・防災・衛生・景観と近隣住民にとっては、不安が尽きない。しかし、許可なしに敷地内に入ることもできず、いっそ更地にしてくれれば良いのになってしまうが、更地にするには解体費用が掛かる上に建物がなくなると固定資産税が6倍に跳ね上がる。ある調査によると空家になっている人たちの70%以上が「特に理由はなく空家をしている」と回答している。空家は全国で約820万戸(平成25年度)総住宅数に占める割合の13.5%に当たる。

空家の持ち主は、近隣の家に連絡先を伝え、定期的に様子を見に来るくらいの気遣いをして欲しいと思う。



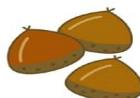
編集後記



「豪雨」の時は上の階に、竜巻の時は下の階に避難してください」とテレビでの気象予報士が言っていた。ほんの数年前まで日本には縁がなかったと思っていた『豪雨・竜巻』といったこの言葉をこの頃よく耳にするようになった。関東・東北での記録的豪雨や泉区や藤沢市では竜巻による被害も出た。この夏の猛暑を始め、異常気象により、先日まで3~4本で100円だったキュウリが100円では1本しか買えず、トマト・レタス・青菜類は高騰が続き、食卓に彩どりが欠ける。

でも、秋は来ており、お米屋さんの店頭には、「新米」の文字。スーパーには梨・りんご・ぶどう・栗・松茸・さんまと美味そうな秋の味覚が並んでいる。

この夏の暑さでなまった身体は、秋の連合健民祭ウォーキングで解きほぐし、その後、美味しい「けんちん汁」で秋の味覚を満喫しませんか!



編集委員

加藤 邦雄 落合 清子 小上 ふぢい
須藤 朋子 岩田 吉隆